

平成 26 年 1 月 7 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 4 件  
(うち半密閉式 (FE 式) ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用) 1 件、  
屋外式ガス給湯付ふろがま (LP ガス用) 1 件、油だき温水ボイラ 1 件、  
ガスこんろ (都市ガス用) 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 1 件  
(うちヒーター付き靴下 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 4 件  
(うち水槽用ヒーター 1 件、電気ストーブ (ハロゲンヒーター) 1 件、  
電気冷蔵庫 1 件、電気掃除機 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議 (※)  
において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会  
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号 A201200811 を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 株式会社ノーリツが製造した屋外式ガス給湯付ふろがま（LPガス用）について (管理番号A201300658)

#### ① 事故事象について

株式会社ノーリツが製造した屋外式ガス給湯付ふろがま（LPガス用）を操作したところ、リモコン表示が消えたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該事故の原因は、現在、調査中です。

#### ② 当該製品のリコール（無償点検・部品交換）について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）のガス給湯付ふろがまについて、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁のゴム膜）が劣化し亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至った可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）6月に新聞社告、2008年（平成20年）3月17日に再社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ウェブサイトにて情報を掲載し、また、ガス事業者と連携してダイレクトメールを送付するなど、対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）の交換）を呼び掛けてきました。

なお、今般の事故を受け、更なる無償点検・部品交換に向けて取組を強化することとしています。

#### ③ 対象製品等：機種・型式、販売期間、販売台数

機種・型式	販売期間	販売台数
GRQ-161シリーズ	1989年8月～1994年2月	137,626
GRQ-201シリーズ	1989年8月～1994年3月	129,342
GRQ-162シリーズ	1989年12月～1994年5月	135,170
GRQ-163シリーズ	1993年8月～1994年5月	9,259
GRQ-203シリーズ	1993年8月～1994年5月	26,210
GRQ-204シリーズ	1993年12月～1994年5月	3,131
合計		440,738

(注) 上記販売台数には、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）ブランド分（9,775台）、東京ガス株式会社ブランド分（17,515台）、大阪ガス株式会社ブランド分（4,493台）、東邦ガス株式会社ブランド分（2,284台）、西部ガス株式会社ブランド分（4,223台）、北海道ガス株式会社ブランド分（155台）が含まれます。

2007年（平成19年）6月9日からリコール実施

改修率 40.9%（平成25年11月30日現在）

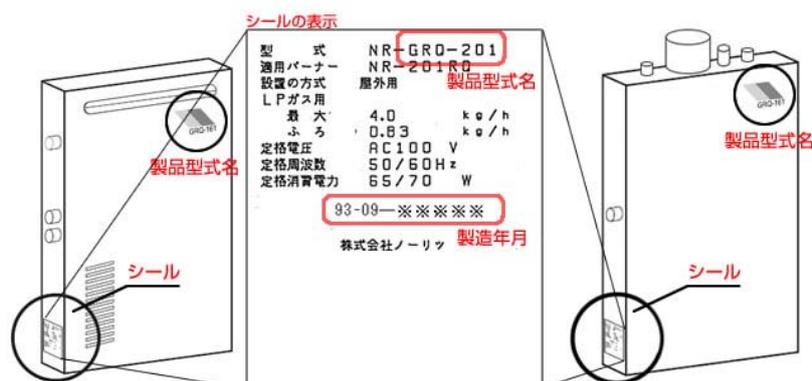
## 対象製品の外観及び確認方法

### 1) 対象製品の外観 (写真はGRQ-161SA)



### 2) 対象製品の確認方法

製品名、製造年月は器具本体側面にシールで表示されています。



### ④消費者への注意喚起

当該製品 (同様の機構を有する製品を含む) を使用している方で、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けておられない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、株式会社ノーリツブランドのほか、日立化成工業株式会社 (現 株式会社ハウステック) ブランド、東京ガス株式会社ブランド、大阪ガス株式会社ブランド、東邦ガス株式会社ブランド、西部ガス株式会社ブランド及び北海道ガス株式会社ブランドの製品もあります。

(株式会社ノーリツ、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社及び北海道ガス株式会社の問合せ先)

電話番号: 0120-257-026

受付時間: 9時~19時 (平日)

9時~17時 (土・日・祝日)

ウェブサイト: <http://www.noritz.co.jp/info/08.html>

(株式会社ハウステックの問合せ先)

電話 番 号 : 0 1 2 0 - 5 5 1 - 6 5 4

受 付 時 間 : 9 時 ~ 1 7 時 3 0 分 ( 平 日 )

ウ ェ ブ サ イ ト : <http://www.housetec.co.jp/2007/06/bath-heater.html>

(東京ガス株式会社の問合せ先)

電 話 番 号 : 0 1 2 0 - 1 5 6 - 0 0 4

受 付 時 間 : 9 時 ~ 1 9 時 ( 平 日 )

9 時 ~ 1 7 時 ( 日 ・ 祝 日 )

ウ ェ ブ サ イ ト : <http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070608-01.html>

(大阪ガス株式会社の問合せ先)

電 話 番 号 0 1 2 0 - 0 - 9 4 8 1 7

受 付 時 間 : 9 時 ~ 1 9 時 ( 平 日 )

9 時 ~ 1 7 時 ( 日 ・ 祝 日 )

ウ ェ ブ サ イ ト : [http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr\\_2007/070608.html](http://www.osakagas.co.jp/company/press/pr_2007/070608.html)

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、清重

電 話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

(株式会社ノーリツが製造した屋外式ガス給湯付ふろがま (LPガス用) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300657	平成25年12月20日	平成25年12月27日	半密閉式(FE式)ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	GQ-2421WZ-HP-2	株式会社ノーリツ	火災	飲食店で当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201300658	平成25年12月22日	平成25年12月27日	屋外式ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	GRQ-161SA	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を操作したところ、リモコン表示が消えたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	和歌山県	平成19年6月9日からリコール実施(特記事項を参照) 改修率 40.9%
A201300659	平成25年12月23日	平成25年12月27日	油だき温水ボイラ	CEB-M071C	サンデン株式会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	青森県	
A201300661	平成25年12月21日	平成25年12月27日	ガスこんろ(都市ガス用)	IC-E600GP-R	パロマ工業株式会社(現 株式会社パロマ)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福岡県	12月25日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200811	平成24年11月29日	平成25年1月22日	ヒーター付き靴下	SHS-02	クマガイ電工株式会社(輸入事業者)	重傷1名	当該製品を履いていたところ、足の裏側に火傷を負った。調査の結果、使用者が当該製品の着脱時に上部方向へ繰り返し強く引っ張ったことにより、経路布(袋状の布地)に縫い付けられている2本のヒーター線が引き出されて重なり合い、局部過熱しヒーター線の外側の布地が溶融して穴が空き使用者が火傷を負ったものと考えられる。また、取扱説明書には「必要以上に引っ張らない、ソックス本体部を持って装着する」旨、記載されているが、必要以上に引っ張った場合に生じる具体的な結果は記載されていなかったことも、事故発生に影響したものと考えられる。	京都府	平成25年1月25日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300654	平成25年11月13日	平成25年12月26日	水槽用ヒーター	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。空だき状態になった可能性を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	事業者が事故を認識したのは12月19日
A201300655	平成25年12月6日	平成25年12月26日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	宮城県	事業者が事故を認識したのは12月16日
A201300656	平成25年12月17日	平成25年12月26日	電気冷蔵庫	火災	事務所で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長崎県	12月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300660	平成25年12月17日	平成25年12月27日	電気掃除機	火災	当該製品を使用中、当該製品の電源コード及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	12月27日に消費者安全法の重大事故等として公表済

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

ヒーター付き靴下（管理番号：A201200811）

